

社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金)

平成30年 1月19日

計画の名称	横手市における住環境整備及び水質保全の実現(重点計画)							重点配分対象の該当	○		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)			交付対象	横手市 (秋田県)						
計画の目標	秋田県生活排水処理整備構想に基づいた事業を推進するとともに、快適な生活環境の確保、自然環境の保全を図る。										
計画の成果目標(定量的指標)	①下水道処理人口普及率を50.2%(H30)から53.7%(H34)に増加させる。										
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値		備考	
								当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)		最終目標値 (H34末)
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 総人口*100								50.2%	52.4%		53.7%
全体事業費	合計 (A+B+C)	913 百万円	A	913 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%	

交付対象事業

A1 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31	H32	H33	H34				
1-A1-1	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	横手第2-6処理分区(未普及対策)	污水管 φ=200mmL= 0.2km	横手市						12.00			
1-A1-2	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	横手第2-7処理分区(未普及対策)	污水管 φ=200mmL= 1.8km	横手市						175.00			
1-A1-3	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	横手第2-8処理分区(未普及対策)	污水管 φ=200mmL= 2.7km	横手市						269.00			
1-A1-4	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	横手第2-9処理分区(未普及対策)	污水管 φ=200mmL= 0.8km	横手市						79.00			
1-A1-6	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	増田第5処理分区(未普及対策)	污水管 φ=150mmL= 1.6km	横手市						154.00			
1-A1-7	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	平鹿第4-1処理分区(未普及対策)	污水管 φ=150mmL= 1.0km	横手市						95.00			
1-A1-10	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	全種	設計	管渠実施設計 L= 4.0km	横手市						55.00			
1-A1-11	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	全種	施設計画の見直し	認可変更	横手市						18.00			
1-A1-12	下水道	過疎	横手市	直接	横手市	污水	新設	十文字第2-2処理分区(未普及対策)	污水管 φ=150mmL= 0.6km	横手市						56.10			
											合計					913.10			

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31	H32	H33	H34				
											合計					0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H30	H31	H32	H33	H34		
											合計					0.00	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

交付金の執行状況

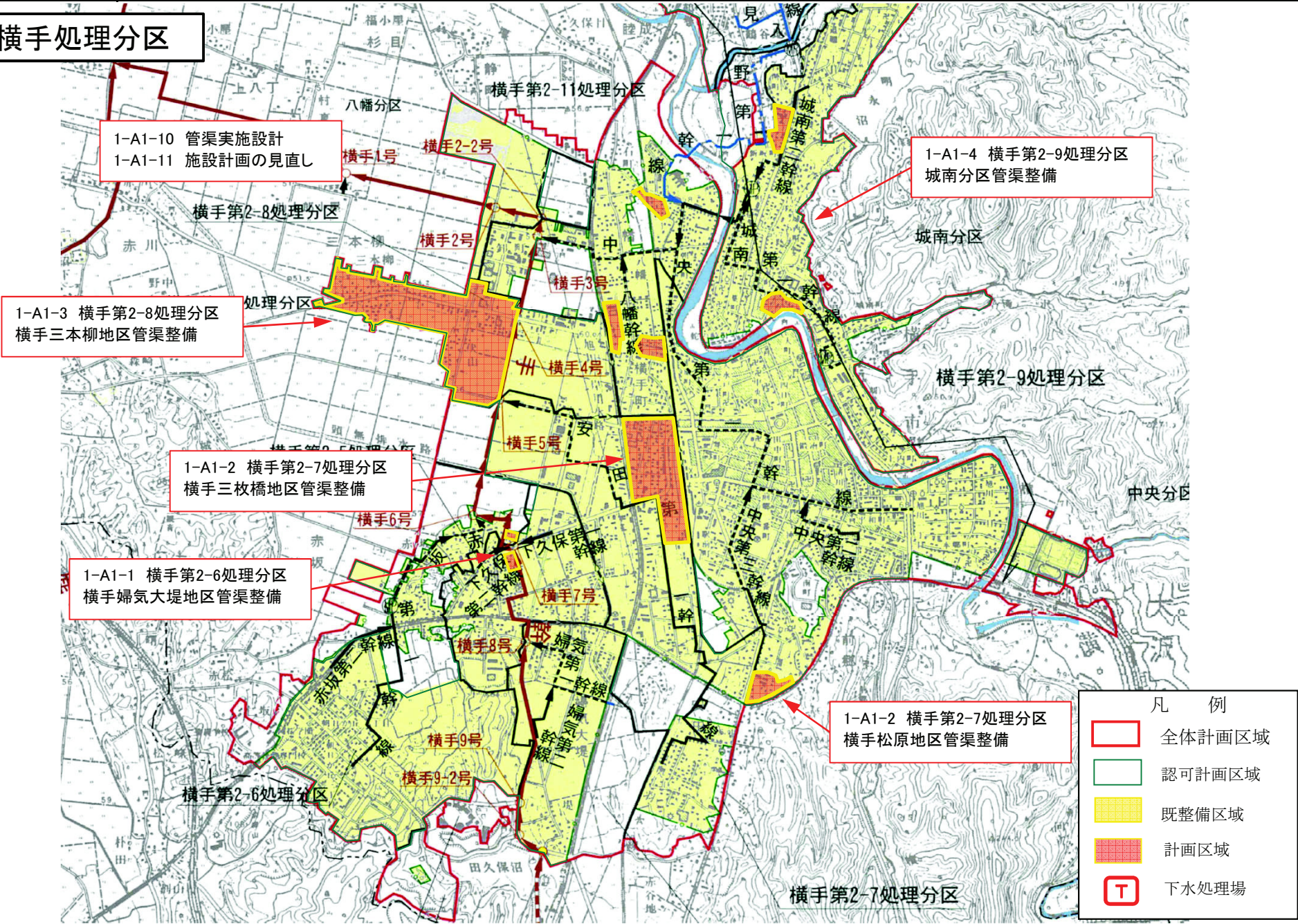
(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場 合その理由					

# 社会資本整備総合交付金

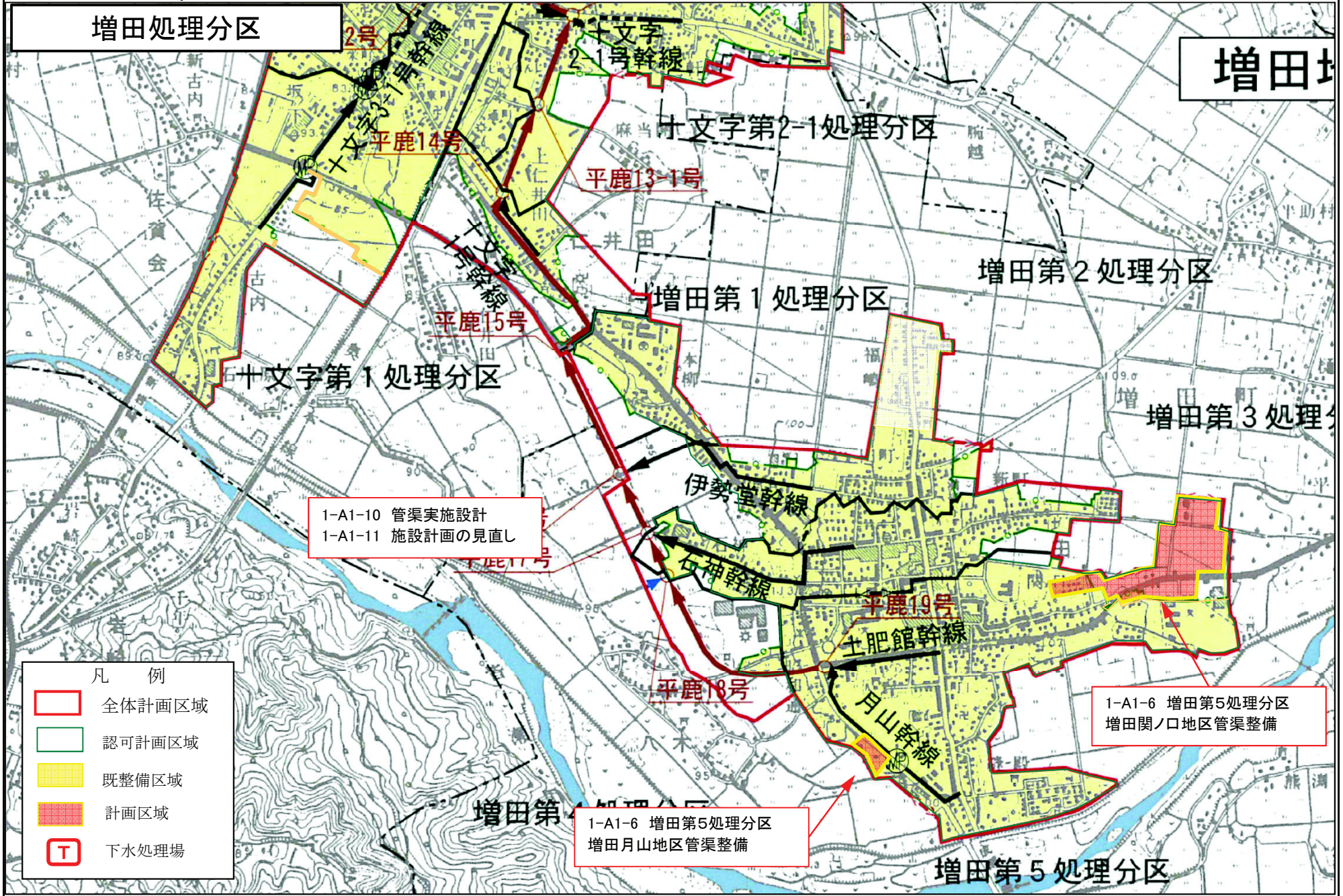
計画の名称	横手市における住環境整備及び水質保全の実現(重点計画)	
計画の期間	平成30年度～平成34年度 (5年間)	交付対象 横手市

## 横手処理分区



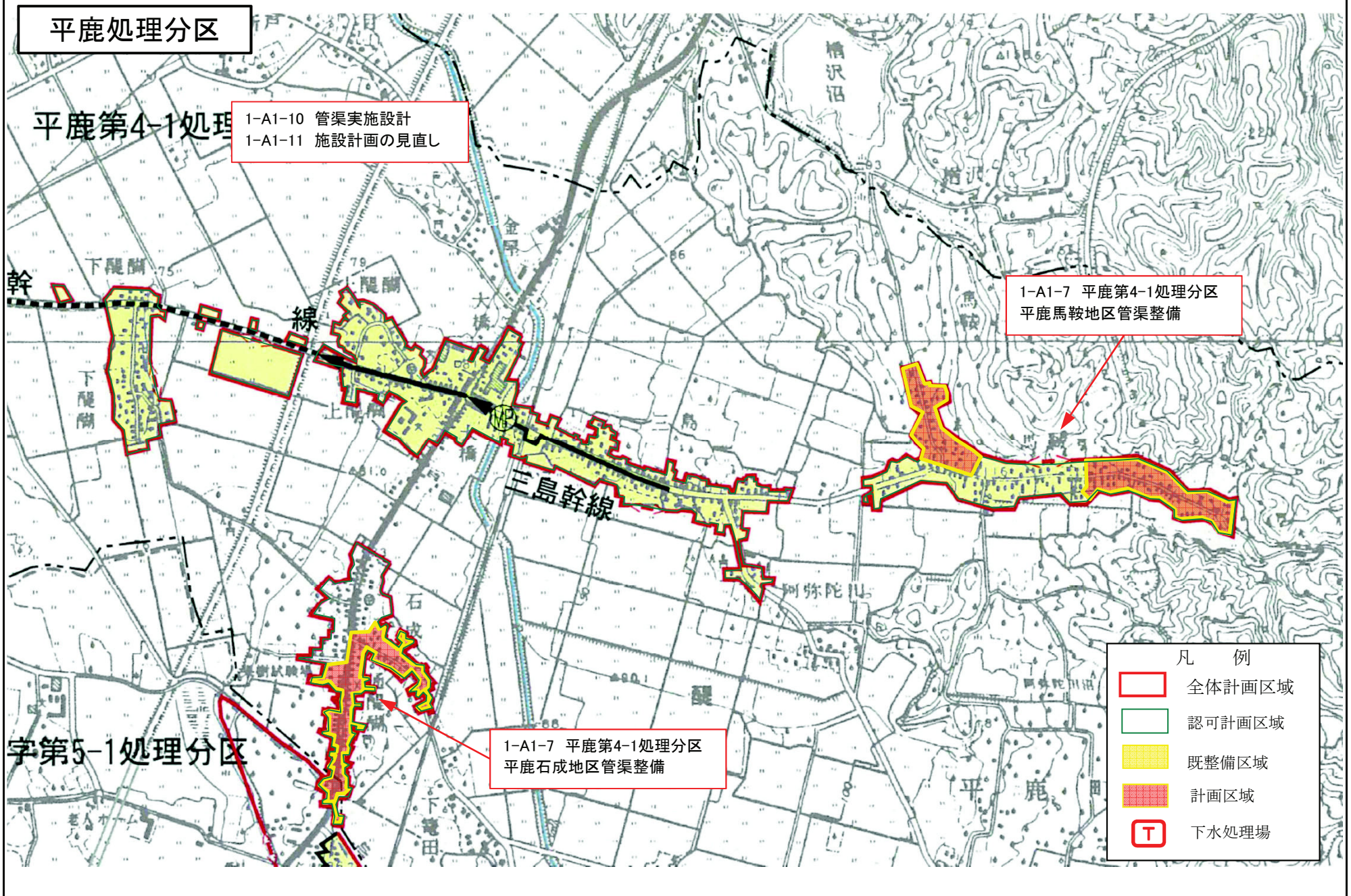
# 社会資本整備総合交付金

計画の名称	横手市における住環境整備及び水質保全の実現(重点計画)		交付対象	横手市
計画の期間	平成30年度～平成34年度 (5年間)			

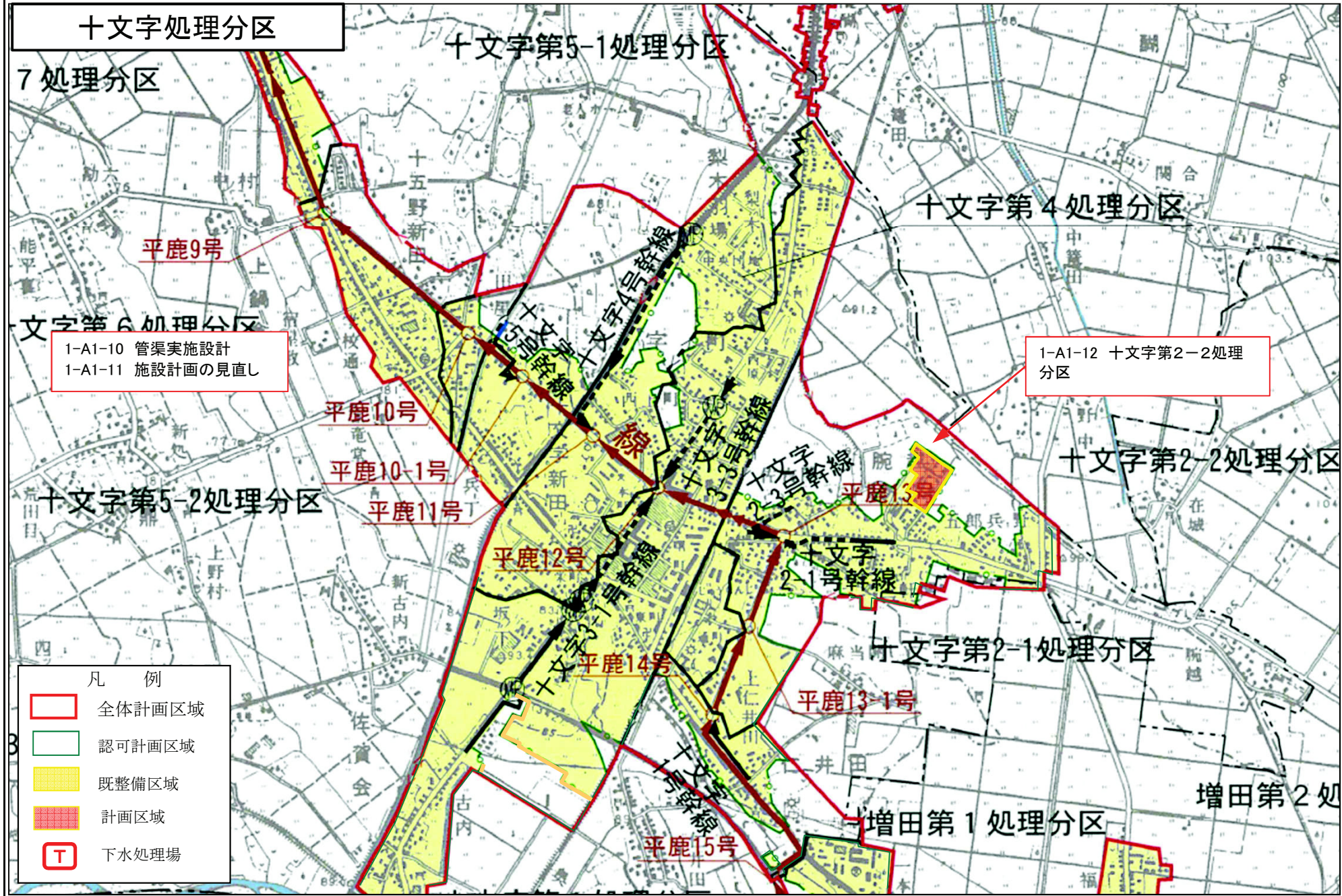


# 社会資本整備総合交付金

計画の名称	横手市における住環境整備及び水質保全の実現(重点計画)	
計画の期間	平成30年度～平成34年度 (5年間)	交付対象 横手市



計画の名称	横手市における住環境整備及び水質保全の実現(重点計画)		
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)	交付対象	横手市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合交付金)

計画の名称: 横手市における住環境整備及び水質保全の実現(重点計画) 事業主体名: 横手市

チェック欄

<b>I. 目標の妥当性</b>	
<b>①上位計画等との整合性</b>	
1)計画の目標が上位計画等と適合している。	○
2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
<b>II. 計画の効果・効率性</b>	
<b>②目標と事業内容の整合性等</b>	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
<b>③事業の効果</b>	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
<b>III. 計画の実現可能性</b>	
<b>④円滑な事業執行の環境</b>	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境整備が図られている。	○
③関連する機関との調整が図られている。	○
<b>⑤地元の熱意</b>	
④事業に向けた機運がある。	○
⑤継続的な事業の展開が見込まれる。	○